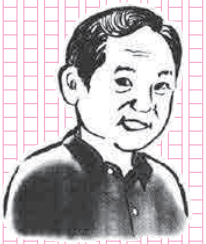

町長エッセイ

小川町内では、幾つもの写真愛好家のサークルが活発に活動しています。町立図書館では、得意な分野で思い思いに撮影した作品展が開催されました。２月１３日からの「第１０回誰もがフォトグラファー写真展」は、町民ギャラリー全体に素晴らしい作品ばかりでした。

１６日からの第２２回の「武蔵の小京都おがわを描く展」では、山と川が織りなす美しい小川の四季の情景、建築物、行事、神社仏閣などの美術作品を通じて町の良さを発信してきました。一般の部には町の内外から、小学生、中学生の部には町内から、合計１８３点の作品が寄せられました。「小京都おがわ大賞」をはじめ様々な賞がありますが、来場者の投票によって決められるため、観賞する人も真剣でした。

２２日は、１年間の公民館活動の成果を発表する４館合同の「第４６回公民館まつり」でした。日本中が新型コロナウイルス禍のさ中でしたが、今年も舞台発表には４７組が登場し、多くの来場者を楽しませました。

お茶席にも参加し、作品展は陶芸、写真、切り絵、書道、絵手紙、俳句、木彫、押し花、水彩画、水墨画、日本画、手芸などの力作揃いでした。

松本恒夫